

市川サイエンス⑥ ポスターの内容

評価基準（構想発表会）

領域		項目	5つの力	基準（もとじゅん）		
ポスター	構成	レイアウト	③表現力	タイトルは研究の内容を過不足なく示している	ポスター全体の統一性・定理の出典・参考文献が正確に表現されている	フォントサイズが不適切ではない
		図表 公式	③表現力	必要な図やグラフ、公式などが示されている	必要に応じてわかりやすく加工されている ※ソフトウェアの設定のままでない	グラフや図表に、タイトル、軸ラベル、単位などが書かれている。図のタイトルや図表番号は下、表のタイトルは上など、図表やグラフのルールに従って表記されている
	内容	独自性 新規性	④発見力 ⑤認識力	先行研究の定理・結果を1つ以上書いている	自分の設定したテーマと先行研究の相対化をしている	自分の設定したテーマに対して、今後の研究方針を述べている
		論理性 実証性	①論理的 思考力	論理に矛盾がない（考察が結果から導き出されている、変数制御ができている、目的に沿った実験となっている等）	十分な検証（実験）がなされ、論理に飛躍がない	目的で示している内容を結論でまとめている
発表	内容	②コミュ カ	聴衆に視線を向け（アイコンタクトをとり）ながら話している	注目させたいポスターの場所（図やグラフ等）を指し示している	ポスター（スライド）の説明を自分の言葉で行っている	
			聴衆全体に聞こえるほどの十分な声量で話している	聴衆の立場に合わせた説明が出来ている（専門用語の定義をしている）	導入・説明・結論に対し適切な時間配分がされている	
	質疑	③表現力	相手の質問に誠実に耳を傾け、質問の意図を汲もうとしている	質問に対して簡潔に回答している		

先行研究の定理・結果を1つ以上書いてある

- 巨人の肩の上に立った研究になっているか。
- 引用を示すこと。

自分の設定したテーマと先行研究の相対化をしている

- 先行研究と自分のテーマを対比できているか。

先行研究

ダンゴムシの行動

明所→よく動く

暗所→あまり動かない



自分のテーマ

ダンゴムシに大きな音を聞かせた時の行動の変化を調べる。

内容に関連はない

自分の設定したテーマに対して、今後の研究方針を述べている

- 目的に沿った実験計画になっているか。
- 変数制御ができているか。

「ダンゴムシに大きな音を聞かせた時の行動の変化を調べる。」



明所で大きな音 } 行動を比較
暗所で大きな音 }